

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 2 2 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 4 年 7 月 3 日 (火) 午前 1 0 時から午前 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	阿部委員、遠藤委員、末包委員、菅沼委員、福井委員、野口委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任、渡辺主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 企画実行委員調整会の結果について</p> <p>2 主催事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">○市民がつくる自主講座について</p> <p style="margin-left: 20px;">○成人大学について</p> <p style="margin-left: 20px;">○子ども体験講座について</p> <p style="margin-left: 20px;">○地域センター施設研究講座準備会日程について</p> <p>3 「月刊こうみんかん」 9月号について</p> <p style="margin-left: 40px;">次回日程 8月7日(火) 午前10時から</p>		

和田：申し訳ありません。緊急の仕事が入り午前中に終わらせなければならぬので、次第2主催講座の市民がつくる自主講座の報告をさせていただき退室させてください。お願いします。

司会 野口企画実行委員

では、市民がつくる自主講座の報告からお願いします。

○市民がつくる自主講座について

和田：今回11団体からの申請がありました。予算枠の総合時間が64時間になっていますが、当初の申請は120時間でした。各団体と調整し確定枠の40時間にしました。本来ならば昨年と同じ内容で実施した団体はお断りするのが大原則ですが、11団体の中に昨年度も実施した団体が2団体あります。今年は違った内容で実施予定ということなので精査をし、せっかく申請をしていただいたということもあり、申請した11団体に実施していただくことになりました。どうでしょうか。

菅沼委員：申請した団体がすべて実施できるようになったということですね。良かったと思います。

末包委員：各団体の申込枠数を調整して実施できるようにするということですね。

和田：現状では、そうせざるを得ないと思います。今後、申請があった団体の内容によって予算単価を決めて実施する方向も検討しています。

野口委員：講師謝礼は単価が決まっているのですか。

和田：1時間当たり8千円です。

野口委員：逆に申請した団体に講師謝礼は任せるという方法もあるのでは。

阿部委員：そうすると枠数が増える可能性もありますね。

和田：金額を決めて、この範囲で実施してくださいというのでも検討する必要があるのかと考えています。そもそも、この講座は、今現在活動している団体を育成するのが目的ではなく、これから自分たちで講座を組み立ててみたいという団体の後援が目的です。

福井委員：チラシは公民館で用意してくれるのですか。

和田：決定した段階で持って来たチラシ等を印刷したり、各公民館に配布する協力はします。

#### 1 企画実行委員調整会の結果について

渡辺（陽）：すでに、皆様出席しておりますので簡単に報告させていただきます。出席されましたのが、29名です。希望された

館ですが、本館が7名でしたので、定数を超えましてお話し合いいただき、1名が緑分館で活動していただけるということで、すべて定数6名以内となりました。その結果、29名全員が企画実行委員として、活動していただけることとなりました。

野口委員：ここで今期で退任される3人の方にご挨拶をお願いします。

末包委員：人生最後の企画実行委員になります。長い間ありがとうございました。企画実行委員になってとても良かったと思うのは、私が元気で体も頭も使うチャンスを与えていただき、今の私がいるのも企画実行委員になったお陰だと思えます。非常に大きな力になったと思えます。そういう気持ちも込めて「月刊こうみんかん」に退任の弁を書かせていただきました。

阿部委員：2年間という短い期間でしたが、大変勉強になりありがとうございました。企画実行委員に就任したきっかけは公民館の講座、内容、運営に興味というか疑問があったからです。就任して、自分の中で大体分かったなと結論がつかしました。ただ、私としては、純粹にボランティアであるべきではないかと思っています。これからは企画実行委員という立場ではなく、ボランティアとして協力させていただき市民のための公民館であるための一助になればと思っています。

遠藤委員：当初は目的を持って入った訳ではなかったのですが、一緒にやっていたらいる5人の委員さんが目的を持って一生懸命やっている姿に感銘をし、非常に勉強になりました。どちらかという文化・芸術関係を中心にやらせていただきましたが、ひとつ悔やまれることは小金井に男声合唱団を作ろうという目的を達成できなかったことが残念です。

渡辺（陽）：末包委員には、講座の企画だけでなく、公民館研究大会や対外的な視察対応などの際に、企画実行委員制度についてお話いただきました。公運審委員としても活躍していただきまして、小金井市の企画実行委員の制度が有名になったのも、このような情報発信のお陰かと感謝しております。また、阿部委員には、市民映画会に際して、毎回受付を分担していただきました。これで終わりとは考えておりません。今後、映画会など市民協働を取り入れて、どのような企画ができるのかも課題になると思えます。そのような時には、是非、お力をお借りできればと考えております。遠藤委員から、今、男声合唱団のお話がありました。結

果はともかく、本当に頑張っていたいただきました。本館の場合、文化、芸術部門を担当される委員が少なかったことがあり、その分、一手に引き受けていただいておりますので、これからもぜひご協力いただければと考えております。

## 2 主催事業について

### ○成人大学について

渡辺（陽）：先月の企画実行委員の会議で、講師との打ち合わせのご報告をしました。3回講座は、その打ち合わせの方向で確定いたしました。ただ、1回目の講座について、「ヨーロッパのアイデンティティと多様性」をテーマとしたいということを原案で提案したのですが、講師から、「多様性に重点をおいてお話ししたい」というお話がありました。また、統一テーマは、「ヨーロッパ考」ではどうかという提案がありました。ここで、了承いただければ、そのように変えたいと思います。

菅沼委員：それは、仕方ないと思うのですが、市報やチラシには、後半に、「ユーロ危機の現状と展望について、理解を深める講座を企画した」という趣旨は、入れた方がいいのではないかと思います。

末包委員：私もそう思います。長くなるのでしたら、むしろ「今年の成人大学では・・・」というような部分を省略してでも、こちらの言いたい主張をちゃんと入れた方がいいと思います。

渡辺（陽）：では、そうしましょう。市報は、全体の原稿量の制約があり、全部載せられるかどうかは確約できませんが、できるだけこの方向で実現したいと思います。

### ○子ども体験講座について

渡辺（も）：年間4回講座のうちの第1回目「野川の生き物観察」を先週の土曜日30日、真夏を思わせるような陽気の中、いつもお世話になっている森林インストラクター4人の講師にお願いし実施しました。この観察会は、毎年恒例で実施していますが、昨年と比べ参加申込みが多く定員25人を超えて結局29人で実施しました。採取した生き物を講師が説明し、子どもたちがその話を熱心に聞き入る姿には感心しました。お手伝いしていただいた阿部委員から何かありませんでしょうか。

阿部委員：この講座では1番人気がある回ですが、去年は保護者も子どもと一緒に川に入っていたようでしたが、今回はどちらかというと川岸から見守るという感じでした。自分も参加していて、とても楽しかったです。

渡辺（も）：因みに、今回は前原小学校の校長先生と教諭2人が

野川の実態を知りたいということで参加されました。

○地域センター施設研究講座準備会日程について

渡辺（陽）：7月10日午前10時30分から、資料室で実施します。多摩島しょ助成金を受けての事業ですので、提出した企画の範囲から逸脱はできません。しかし、この範囲で準備会において講座企画をしていけたらと考えております。また、講座予定日ですが、準備会で決定します。しかし、行政使用の予約がすでに入っている状況下、一応、講座候補日をお示して、検討いただくこととします。

3 「月刊こうみんかん」9月号について

「月刊こうみんかん」9月号に、「公民館企画実行委員になっての一言抱負」を予定しておりますのでよろしくお願い致します。また、8月の企画実行委員の会議の冒頭で、集合写真の撮影を考えておりますのでよろしくお願い致します。

以上